

### 一般質問(要旨)

#### ●質問者

3月6日(水)

萩原 勇 議員  
(いばらき自民党)

高橋 勝則 議員  
(いばらき自民党)

外塚 潔 議員  
(無所属)

3月7日(木)

田村 けい子 議員  
(公明党)

中村 修 議員  
(いばらき自民党)

山中 たい子 議員  
(日本共産党)

3月8日(金)

星田 弘司 議員  
(いばらき自民党)

二川 英俊 議員  
(県民フォーラム)

水柿 一俊 議員  
(いばらき自民党)

3月11日(月)

岡田 拓也 議員  
(いばらき自民党)

川口 政弥 議員  
(自民県政クラブ)

舘 静馬 議員  
(いばらき自民党)



萩原 勇 議員  
いばらき自民党  
龍ヶ崎市・利根町選出  
一括方式

アスリートの魅力を引き出す  
チームいばらき選手団ユニフォーム

議員 茨城国体を機に刷新される選手団ユニフォームは、機能性もとよりデザイン性も求められる。さらに、本県の魅力や先進性を伝える象徴にもなると考えるが、どのような方針で作製していくのか。  
知事 選手の意見も聴きながら、既存の枠にとらわれない、機能性・デザイン性に富んだものとした。さらに、ユニフォームを通じて変革を恐れず努力する茨城の意気込みが、多くの方に伝わるようデザインを工夫し作製していく。

利根町「桜つつみ」を生かした観光振興

議員 春に美しい桜のトンネルとなる利根町「桜つつみ」のように、地域の観光資源を磨き上げることが県全体の魅力向上にもつながると考える。今後どう取り組むのか。営業戦略部長 利根町と連携して、日本一の桜の名所を目指す地元活動の発信や、フォトコンテストへの応募の働き掛け、ロケ候補地としての紹介などにより、知名度向上を図り、「桜つつみ」を新たな観光資源とすることを目標としていく。  
(ほかに、未活用土地の活用促進、在宅医療の推進なども質問)



春を迎えた利根町「桜つつみ」



高橋 勝則 議員  
いばらき自民党  
古河市選出  
一括方式

県西地域の振興

議員 にぎわいを生み出す拠点の整備により、県西地域はさらなる飛躍が期待できると考える。県の持つノウハウの活用も期待するが、県西地域の振興について所見は。  
知事 既に県西地域の市町村では、国の制度などを活用した特色あるまちづくりが進められている。県も参考となる事例などの研究を進める。また、新総合計画のゾーンごとに開催する意見交換などを通じ、互いに知恵を出し合いながら、県西地域の振興に全力で取り組む。

農産物の県内加工と販売に向けた取り組み

議員 全庁的な連携を図りながら、全国的なPRにつながる商品づくりや県内の農産物加工の推進に取り組むべきと考えるが、所見は。  
農林水産部長 食品企業や農業者などのニーズ調査や、県内食品加工業者情報のデータベース化を進め、支援機関と共有することでマッチングを支援し、県産農産物の認知度・売り上げ向上につながる商品づくりや県内加工を推進する。  
(ほかに、動物取扱業者への適正な対応、国道一二五号古河拡幅の整備なども質問)



県西地域ににぎわいを生み出す拠点の形成を



外塚 潔 議員  
無所属  
かすみがうら市選出  
一括方式

日本一のサイクリング環境の構築

議員 タンDEM自転車走行解禁を機に、つくば霞ヶ浦りんりんロードについて、どう日本一のサイクリング環境の構築に取り組むのか。政策企画部長 各種イベントが開催されるかすみがうら市の歩道公園での試乗会などを通じ、サイクリストや観光客だけでなく、視覚障害者やパラスポーツ関係者へもPRすることで、本県の観光振興や障害のある方々にもやさしい県としてのイメージアップにつなげていきたい。



複数乗車による公道走行が解禁されるタンDEM自転車

教員の機動的な配置

議員 年度途中で教員の欠員が生じた場合の対応は。  
教育長 臨時的任用職員を希望する者の情報を県全域にわたるデータベース化することで、年度途中の任用にも速やかに対応できるように努めている。また、育児休業取得者の代替については、二〇一九年度から任期付教職員を任用することとし、時期を逸することなく代替者を確保していく。  
(ほかに、イノシシなど鳥獣被害対策、霞ヶ浦二橋の整備なども質問)



田村 けい子 議員  
公明党  
つくば市選出  
一括方式

健康長寿日本一に向けた取り組み強化

議員 人生百年時代を迎える中、健康寿命延伸には要介護状態手前のフレイル予防が重要である。栄養・口腔ケアなどの支援のほか、高齢者の社会参加を促す取り組み強化が必要と考えるが、所見は。  
知事 運動、栄養の取り組みを通じたフレイル予防を進めるほか、高齢者が健康づくりの担い手として社会参加できる仕組みをつくる。二〇一九年度には幅広い世代の県民が活用できる健康アプリを提供するなど健康長寿日本一を目指す。

県におけるSDGs推進体制

議員 誰一人取り残さない社会の実現のためには、地方創生を深化させる自治体SDGsの推進が重要である。今後、どのような体制で推進していくのか。  
知事 SDGsの理念を県総合計画に意識して盛り込んだほか、計画の着実な推進のため新たな推進組織を設置する。加えて市町村への普及啓発を進め、SDGsパブリックを活用した情報発信なども検討し持続可能な社会づくりを目指す。  
(ほかに、共助社会づくりの推進、児童虐待防止対策なども質問)



SDGsの推進を(17の目標を表すSDGsバッジ)

### 福島・茨城・栃木・群馬・新潟 五県議会議長会が開催されました

二月六日から七日にかけて、群馬県高崎市において、福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会が開催され、川津隆議長と福地源一郎副議長が出席しました。  
初日の会議では、「議員発議条例について」をテーマとして協議が行われ、全国都道府県議会議長会協議会調査部長から、議員による政策立案の意義と全国的な状況についての講演が行われた後、各県の取り組み状況などについて意見交換を行いました。  
意見交換では、川津議長が「茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例」や「茨城県がん検診を推進し、がんとうき合うための県民参画条例」などについて、上程までの経緯や取り組み内容、施行後の成果などを発表し、活発な議論が行われました。  
また、翌日は、群馬県内外から出荷された牛や豚の解体・加工、卸売りをしている(株)群馬県食肉卸売市場を視察し、高度に衛生管理された施設における食肉加工の取り組みなどの説明を受けました。



会議に参加する川津議長(左側)と福地副議長(右側)